

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

135号

2011年10月17日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 判決前に葉書を！

11月24日(木) 15時15分に、東京都開発審査会・板橋区建築審査会を経て、東京地裁から東京高裁へと控訴された藤和マンション建築確認無効の行政訴訟は判決を迎えます。

私たち住民は常盤台のまちの構造を無視した駅前高層マンションの建築に反対してきました。建物は建ってしまい、中に住んでいる人たちとも親交が生まれたり、異様に感じられた威圧的な建物も、見慣れてしまっています。しかし、本来あってならない所に無理に半端な道を作って許可を与えるやりかたでは、無秩序と言うしかない醜いまちを作ってしまう。板橋区の中でも良好な住宅地といわれた我が常盤台さえ、利益追求の欲に勝てないのでしょうか。

11月まで葉書による公正な裁判を求める要請運動を行っています。こちらの用意している葉書に住所と氏名を書くだけです。ぜひご協力ください。

○ 都市建設委員会に陳情提出

9月20日締め切りの陳情に常盤台のまちづくり、特に駅前の高層建築に対する絶対高さ制限などの条例制定などについて、2003年に提出した陳情と同趣旨のものを提出しました。

都市建設委員会での初めての審議が11日にありました。

いつも思うことですが、今のシステムが改良されない限り、区民が主体にはなれないでしょう。陳情者は傍聴できるだけで発言できません。委員が職員に質問し、職員が説明する形なので、質問も答弁も実情を知らない人たちでのやり取りになっています。どちらも自分が区民への奉仕者であることを忘れてるように思えます。そういう意識改革が板橋区には先ず必要なのではないのでしょうか。

○ 駐輪場問題

私たち住民の長年の願いがいよいよ叶うことになり、常盤台小学校北側の暫定無料自転車駐輪場が撤去されることになりました。

去る10月11日、区土木部交通安全課長、同自転車交通グループ係長のお2人と面談し、今後のスケジュールを聞きました。

2月1日から常盤台駅三井住友銀行横の駐車場の、向かって右側の、現在は月極駐車場手前に500台分の駐輪場を整備するそうです。(詳細設計は検討中ですが、有料になります。1月までは現行どおり)

4月1日からの駐輪場オープンに際し、まちづくり委員会としては、①利用者への告知 ②自転車整理員の配置 ③道路開通の猶予期間を設ける ④落葉掃除の小学校、幼稚園への指導 ⑤緑地帯のツツジなどの復元 等を要望しました。

30年近くも駅の至近にあった無料駐輪場がなくなることで、撤去後は新設の駅前駐輪場におさまりきれない自転車が周辺地域に放置されるのではと懸念しています。

また、中央図書館駐輪場は図書館利用者以外の方が使用していて、いつも満車です。中央図書館は施設の老朽化とバリアフリーの未整備など課題もあります。今後も地域住民として意見を出していきたいと考えています。

原発不信から

放射性ストロンチウムが横浜で検出されて問題になっていきます。市民の計測によって始めて判った事実で、原発20K圏内と同レベルです。しかも私たちの不信感を増加させるのは、ストロンチウムを測るのは難しく、時間がかかるとかで計測そのものをやっていない、という現実です。では他の危険な物質も同じように計測していないのでしょうか。原子力委員会って何をしているのでしょうか。

「風評被害」という言葉が便利に使われています。事実無根なら風評ですが、ある程度根拠があれば、それは風評ではないでしょう。とりあえず騒ぎにならないよう、直ぐに押さえつけるのが、どうも為政者のやることで、事実の隠蔽、都合よく事を運ぶための偽装（やらせ・証拠改ざん）など、信じられない欺瞞に満ちている社会であることがわかってしまいました。この日本を立ち直させるのは、並大抵のことではありません。

ほとんどの女性は原発撤廃の意見ですが、子どもの健康・子孫、ひいては人類の将来を考えると、当然だと思えます。しかし、どうも男性には原発必要論の人が多いようです。なぜでしょう。現実的だからという人がいますが、現実だけ見えて、地球規模の視点に欠けているのではないのでしょうか。

板橋区には五十万円ぐらいの放射能測定器が二台購入されているそうです。安いものは誤差が相当出るとか。折角の測定器なのだから、大いに区内を測ってもらいたい。正確で透明なデータをみんなが欲しがっているのです。

ロータリーコンサート

十月九日(日)、客寄せの前座の童太鼓のあと、上板橋第一中学校吹奏楽部・新東京アカデミー合奏団・ギターとエレクトーン演奏・ジャズバンド演奏・淑徳中学・高校チアガールの皆さんの熱演が続きました。チアガールの新入生のグループでは、バトンをいつも誰かが落としてしまうのですが、一生懸命笑顔で補っているのがとても可愛らしかったです。

椅子の上で居眠りしている人もいましたので、もう少し一度の演奏団体を少なくし、時間を絞った方が良くもされません。

次回は十二月末、恒例となった常盤台バプテスタ教会のクリスマスキャロルです。

ニュース配布に

ご協力いただけませんか？

このニュースも一三五号となりました。二十二人の方がボランティアで皆さんのポストに配布して下さっています。一人の方が引越されることがになりました。その代わりにして下さる方を探しています。月に一回、散歩がてらお願いできると嬉しいのです。アルバイトを頼むことは考えていません。お金で解決せず、住民のまちに対する思いで運営したいのです。

また、ご意見をどしどしお寄せください。住民同士の意見交換の場となることが理想です。

常盤台公園のはなづくり

先日の強力な台風のとき、ツツジの中に高くそびえるように育っていた三本の皇帝ダリアが、三本とも根元から倒れてしまいました。一皮ぐらいしか根とつながっていないので、再起不能かと思われましたが、Tさんが丁寧に添え木をし、手当てした結果、ちゃんと復活して青々と葉を茂らせています。生命力も強いようです。気候の変動で去年は花を咲かせませんでした。今年はどうでしょうか。

白い大輪のダリアがトイレの傍で咲いています。みどりと公園課に品種の名前を知りたいという問い合わせがあったとか。マルコムズ・ホワイトという種類で、タキイからわざわざ取り寄せたもので、30センチの巨大輪が咲く予定でした。予定は未定ですがから来年は本当の巨大輪が見られるかも。

サルビアの赤い花が、なんとなく寂しい感じの秋の花壇を彩ってくれています。今年の苗はまあまあのものでした。年によってマリーゴールドなどの苗も当たり外れがあります。

苗そのものの品質だけでなく、天候の順不順、手入れの具合、土地との相性など、微妙なものがあるのでしょうか。

定例会十一月十二日(土) 七時

「ギャラリー服部」にて